

■ 県民講座 2004

回		日 時	テーマ	講師(敬称略)	内容	
第1回	人権全般	7月24日 (土)	13:00～	開講式・オリエンテーション		
			13:10～ 14:40	生きること 学ぶこと	足立区立足立第四中学校教諭 松崎 運之助(みちのすけ)	山田洋次監督の映画「学校」の主人公のモデルであり、現在も夜間中学の先生をされている松崎先生に、生徒との日々のふれあいを通じての経験等を交えたお話しをしていただきます。
			14:50～ 16:20	ワイワイいきいき美咲大学 一人ひとりの自己実現を 支援する美咲支部の識字運動	筑紫野市立筑紫小学校教諭 吉村 貢	約30年前にはじまった識字学級の切実な思いと成果を継承発展させながら、これからの一人ひとりの自己実現という課題を踏まえた、「機能的識字」の必要性を感じて、みんなで試行錯誤しながら5年前に活動を開始した「美咲大学」について、スタッフとしてその設立当初から携わっておられる吉村先生にお話しをしていただきます。
第2回	同和問題	8月21日 (土)	13:00～	オリエンテーション		
			13:10～ 14:40	『いのちはこのむらで ずーっと生きた』 ～絵本『いのちの花』・ム ラの伝承の絵本化～	福岡県人権研究所理事 園田 久子	博多のある「ムラ」に二百年にわたって大切に語り継がれてきた寛政五人衆の話を絵本化した『いのちの花』。どんな受難も乗り越えて、生きている人々の思いの深さに触れ、言葉をつ紡いだ園田先生。「原爆の図」の丸木俊さんによるいのちのにぎわうカラフルな絵が添えられている、その作品を通してのお話しをしていただきます。
			14:50～ 16:20	同和問題教室	福岡県同和問題をはじめとする 人権問題に係る啓発・研修 講師団講師 松崎 多典(たすけ)	福岡県人権啓発情報センターの常設展示室と特別展示室を利用して、わかりやすく「福岡の差別の歴史」と「特別展」についての説明をしていただきます
			第3回	外国人問題	9月25日 (土)	13:00～
13:10～ 14:40	在日コリアンと朝鮮半島・ 日本社会	福岡教育大学助教授小林 知子				2000年南北首脳会談以後、大きく進展している韓国－北朝鮮関係をふりかえりながら、在日 コリアンの現在について考えるなかで、日本のNGOがおこなってきた絵画展を通しての、南北、そして在日、日本のこどもたちの国際交流等について紹介していただきます。
			14:50～ 16:20	差別と戦う	絵本作家 ジョエル・アングバ	「人を差別する心を持って生まれてくる人はおらず、人種差別は後から身につけてしまうものであり、無知と不安定さがその根底にある。」と言われるアソグバさんが、絵本・詩集の作成、講演会やコラム等多分野に渡る活動を通して訴え続けておられる「人種は人類だけであって、私たちは皆そのメンバーである。」という多文化・多民族共生の重要性を中心にお話しをしていただきます。
			第4回	子ども問題	10月23日 (土)	13:00～
13:10～ 14:40	学力問題と子どもの諸問題	筑紫女学園大学講師 麻生 信子				定年まで中学校教諭(国語)であり、現在は大学講師と、小・中・高の現役の教師を対象にした「授業塾」の主宰をされている先生に、子どもたちの学力問題と抱えている様々な問題についてのお話しをしていただきます。
			14:50～ 16:20	地域力で子どもを育てる	春日市立春日北小学校校長 今村 隆信	家庭地域での子育ての現状を見直し、生きる力(人権を尊重する)を地域で育てましょう。
			第5回	障害者問題	11月13日 (土)	13:00～
13:10～ 14:40	自分らしく生きたいネ!	自立生活支援センター「夢風船」 ピア・カウンセラー やまもと ようこ				車いすは私のアイテム、私は「わたし」が大好き。
			14:50～ 16:20	障害をもつ人たちの人権と 生活をめぐって	久留米大学講師 植田 美佐恵	障害をもつ人たちの生活の実態と社会的な対応をとおして、現在におけるすべての人にたいする人権保障の到達点について考えたいと思います。
			第6回	高齢者問題	12月18日 (土)	13:00～
13:10～ 14:40	高齢者の介護サービスを考 える	福岡県立大学教授 鬼崎 信好				高齢者の介護問題について、介護サービスを受けるための介護保険制度をその現状・問題点・今後の課題等多方面から検討することで、より分かり易くお話しをしていただきます。
			14:50～ 16:20	「老年論」の今昔	福岡県人権啓発情報センター館長 安藤 延男	キケロの老年論(『老年について』岩波文庫)や「老人力」論(赤瀬川原平)などを踏まえながら、わが内なる年齢差別や、高齢者のQOL(人生の充実)などについて、再考したいと思います。
			第7回	人権全般・まとめ	1月22日 (土)	13:00～
13:10～ 14:40	識字運動の中で学んだこと	田川地区同和啓発センター事務局長 堀内 忠				「識字学級に字を教えに行った教師たちが、受講者であるお母さんたちから、逆に『教育とはなにか、人間の生き方とは・・・』等について、多くのことを教わった。」と言われる先生に、実践を通じてのお話しをしていただきます。
14:50～ 16:20	必要とされているよるこび	宇目町役場企画商工課課長補佐 矢野 大和(たいわ)				大分県南海部郡宇目町役場の『観光大使』として、九州各県はもとより全国各地で年間300～400箇所での精力的に『口演活動』をされている矢野さんに、多彩な経験を通して、「人権」という視点から、大好きな落とし鼻を交えて楽しくお話ししていただきます。
			16:20～	閉講式		